

平成30年度第2回滝沢市上下水道事業経営審議会会議録

I 日 時 平成30年12月7日（金）午後1時35分～午後4時10分

II 場 所 滝沢市役所本庁舎2階 大会議室

III 出席者 滝沢市上下水道事業経営審議会委員 出席6名（欠席3名）

【滝沢市上下水道事業経営審議会委員（兼 滝沢市水源保護審議会委員）】

山田 一裕 会長、及川 安 副会長、安永 正治 委員、田村 武 委員、
昆野 光子 委員、佐藤 定美 委員

【滝沢市】

滝沢市長 主濱 了

上下水道部（事務局） 部長 太田 城人

水道総務課 課長 阿部 一彦、総括主査 久保 雪子、
主任 櫻岡 湧土

水道整備課 課長 松本 昭彦、総括主査 角掛 雄一

下水道課 課長 三浦 信吾、
総括主査 小林 純子、副主幹 高橋 利昌、
主任主査 木下 智恵子、主査 浦島 貴之

IV 次 第

<委嘱替えの報告>

株式会社やまびこ盛岡事務所管理部専門部長 坂井 善隆様の退職に伴い、後任の管理部長中村 孝之様に委嘱替えを行うことを報告した（欠席のため委嘱状交付は次回）。

1 開会

2 挨拶

市長挨拶、委員及び事務局の紹介

3 議事

（1）議事録署名人の指名

会長より、議事録署名人に及川 安委員、佐藤 定美委員が指名された。

（2）会議の公開・非公開

公開とされた。盛岡広域連携ブロック検討会事務部会会員3名の傍聴者入場。

（3）報告事項1 平成29年度滝沢市水道事業会計決算について

（水道資料1、水道資料2）

資料の内容について水道総務課長より説明があり、質疑応答が行われた。

【及川委員】総係費に分庁舎の修繕費が計上してあるが、これは4条の資本的支出から支出するべきものではないか。

【水道総務課長】事務室のエアコン工事等、水道事業の固定資産となるものについては、資本的支出で対応した。建具の修繕や給水管修繕については、3条費用としての支出となった。

【及川委員】減価償却は行っているのか。

【水道総務課長】分庁舎の使用については、無形固定資産の施設利用権で、10年間の減価償却を行っている。

【昆野委員】未収金とは、水道料金が未収となっている、ということか。

【水道総務課長】主に水道料金が未納となっている分だが、口座引落分やコンビニ納付分の回金が年度を跨いでしまうことがあるため、翌年度に入ると大半の未収金は解消されるものとなっている。

【昆野委員】純利益とあるが、毎年利益がでてしているのか。

【水道総務課長】収益的収支の利益を資本的支出に充てるという構造になっているので、この利益分が水道施設の更新費用の財源となっている。

(4) 報告事項2 平成30年度滝沢市水道事業進捗状況について

(水道資料3)

資料の内容について水道総務課長より説明があり、質疑応答が行われた。

【及川委員】有収率や有効率の最終目標はどのくらいに設定しているのか。95%くらいに設定してもいいのではないか。

【水道整備課長】平成32年度までに92%と設定している。有収率については、漏水はまだ多い状況となっている。音聴等の調査を実施して今年度も大規模漏水の修繕を行っている。

【及川委員】漏水の程度によっては、調査費をかけてまでやらなくてもいいという考え方もあるのではないか。費用対効果はどうなっているか。

【水道整備課長】実際には水道代の方が安いケースもあると考えられるが、水を無駄にしたくはない。漏水調査と並行して耐震管更新を進め漏水を減らしていきたい。

【及川委員】割合としては、大規模漏水と宅内ではどちらが多いか。

【水道整備課長】宅内給水管の漏水は、少量ではあるが件は多い。大規模漏水は平成30年度2箇所あった。

(5) 報告事項3 水道に関するアンケート調査結果について

(水道資料4)

資料の内容について水道総務課長より説明があり、質疑応答が行われた。

【昆野委員】回答率が41%ということだが、どのような割合となっているか。

【水道総務課長】モニターの属性については、性別・年齢・職業・居住年数等7項目で集計している。傾向としては、居住年数が多い住民の方が水がおいしいと感じている様子がうかがえる。

【山田会長】滝沢市の年齢構成とモニターの年齢構成が近いものとなっているか、確認しておくとして今後検討の材料になると思う。

(6) 報告事項4 平成29年度滝沢市下水道事業会計決算について
(下水道資料1~3)

資料の内容について下水道課長より説明があり、質疑応答が行われた。

【及川委員】一般会計からの繰入金のルールについてどうなっているか。

【下水道課】地方公営企業繰出金について毎年総務省が通知している、「繰出基準」に基づいて繰出してもらっており、いわゆる「基準外繰入」は無い。詳細の額等は元利償還金等が基礎となっている。

【及川委員】雨水に関する経費などは全額繰入対象との認識で良いか。

【下水道課】全額繰入対象となっている。

(7) 報告事項5 平成30年度滝沢市下水道事業進捗状況について
(下水道資料4)

資料の内容について下水道課長より説明があり、質疑応答が行われた。

【安永委員】目標値よりも実績値の方が高い指標があるがどういうことであるか。

【下水道課長】総合計画の目標値は、策定された年度を基本に複数年に渡って目標を立てており、目標値の修正は原則前期及び後期基本計画の策定年度でしか行われず、上方修正等はされていないことによる。すでに目標値を達成した指標となる。

【佐藤委員】市内で未だ水洗化されていない地区はエリア的にどのあたりであるか。

【下水道課長】現在工事中の小岩井エリア及び新しく市街化区域に編入された滝沢駅前や巣子地区が、これから公共下水道が整備される地区となっている。

【昆野委員】浄化槽の資格を持っておりませんが、現在、単独浄化槽はもう使われない体制になっている認識ですが、いかがか。

【下水道課長】委員お話のとおり、単独浄化槽は新しく整備されないものとなっているが、現状使用中の単独浄化槽で確認できているものは滝沢第二小学校である。

【山田会長】接続率を上げる取り組みは行っているのか。

【下水道課長】本日資料を用意したので紹介させていただく。(追加資料配布)この資料のとおり、整備中の小岩井地区を始め、接続を啓発するチラシを作成し、今年度も複数地区に全戸回覧等を実施している。

(8) 審議事項1 平成31年度滝沢市水道事業会計予算基本方針について
(水道資料5)

資料の内容について水道総務課長より説明があり、質疑応答が行われた。

【山田会長】水源管理について、市民に携わってもらうような取り組みを検討してはどうか。ぜひ企画してほしい。

【水道総務課長】以前実施していた河川の水源清掃については、清掃が必要なほど汚れていないため現在では実施していないが、新たに、株式会社やまびこ様から水源保全について協力の申し出があるので、協働での取り組みを検討していきたい。

【昆野委員】上下水道広報誌について、特集ページに期待している。広報誌を持って
いって近所の方々に説明することもあるが、広報誌を処分してしまっている人も
いるようだ。特集は別刷りにしてはどうか。

【水道総務課長】委員に滝沢市の上下水道事業について広報していただき、大変あり
がたい。特集記事については、毎回工夫をこらして見ていただける記事を掲載す
るよう努めているが、別刷りにして配布することについては、予算的に少し厳し
いのが現状である。

(9) 審議事項2 平成31年度滝沢市下水道事業会計予算基本方針について
(下水道資料5)

資料の内容について下水道課長より説明があり、質疑応答が行われた。

【山田会長】地域社会アンケートにおいて、災害に強いまちづくりについての集計結
果があるようだが、その結果と下水道の事業を比較検討するようなことはあるか。

【下水道課長】地域アンケート結果との比較は、今の段階では実施していない。

【山田会長】不明水対策で、平成31年度に取り組むものは何か。

【下水道課長】平成29年度から実施しているが、マンホール蓋の穴から流入する雨
水を防止するための栓を装着する作業を継続している。地道な作業だが、成果を
あげている。

【山田会長】追加資料で配布いただいたチラシは市内全戸配布か。

【下水道課長】不明水が発生していると推測できる地区が主に旧農業集落排水事業の
地区なので、大釜地区や篠木地区にチラシの配布を行った。

4 その他

事務局より、水道法改正についての資料提供と、次回の審議会の開催予定について
説明があった。

- ・年明けから重要審議に入るため、毎月参集いただくハードなスケジュールとなる
が、ご協力をよろしくお願ひいただきたい。(審議会開催スケジュール資料配布)
審議会開催の詳細については追ってご通知申し上げます。

5 閉会